

6歳からの猫ちゃん用フード

猫ちゃんは6歳を過ぎた頃から、ライフステージのシニア期に入ってきます。早い場合は、この頃から老齢のサインを出すことがあります。また老齢のサインが出ていない場合でも、シニア期用のフードを使っていく事が、これから先、快適に過ごすために重要となります。

フードは、6歳を過ぎてからの年齢や、栄養状態によって使い分けをすることができます。老齢のサインについて、以下にあてはまるものがないかご確認ください。

【老齢のサイン】

🐾 筋肉減少

- 動きが鈍くなってきた。
- 高い所へジャンプしなくなってきた。
- 体重が減ってきた。
- 触った様子、骨が触りやすくなってきた。

🐾 骨関節症

- 動きが鈍くなってきた。
- 毛繕いをするのが少なくなってきた。
- びっこを引く。

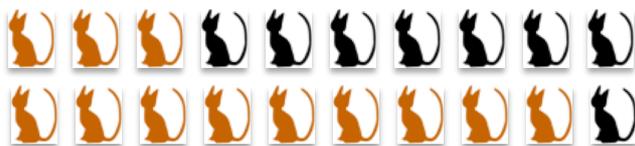
🐾 認知症

- ぼーっとしている。
- 睡眠—起床のサイクルが変わってきた。
- 活動性、社会性が低下してきた。

◆ 骨関節症：7歳以上の猫の 34%
12歳以上の猫の 90%



◆ 認知症：12歳以上の猫の 28%
15歳以上の猫の 50%



◆ 慢性腎臓病：10歳以上の猫の 10%
12歳以上の猫の 33%

